

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		マルクスコラ余戸教室				公表日			2025年 10月 31日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点					
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	・教室内の床をスペースの用途に応じて色分けし、視覚的に認識しやすい状態にしている	・追加でもう一室別室があると良い					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	2		・生徒さん一人にスタッフ一人が割かれることもあるため、日によって人手がほしいと感じる ・従業員の退職や病欠などの突発的な事象が起きた際に対応が難しい（余剰人員の問題） ・当日の生徒さんによっては、スタッフ人数に余裕がない日がある					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1		・使用している教室自体があまり広くはないため、活動内容によっては適していると言えないものもある					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・相談室使用時のルールを明確にしており、トラブルも起きていない						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・面談や会議などは機会がしっかりと確保されている						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		・周知はされているが、個々の従業員に任されている面が大きいため、効果は限定的かもしれない					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0							
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2							
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・役職などに応じて対象スタッフを決めて、各スタッフに必要な研修が実施されている。						
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・毎年違った形で研修を行っている						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・面談の機会を多く作って対応しており、子どもを取り巻く環境に対してのアプローチもした上で支援ができるようになっている						
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・支援会議など、計画的に実施できている。						
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・毎朝、個別支援計画を確認し、当日の留意点など確認している。						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0							

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・相談室での個別対応や別時間帯でのプログラム実施等を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・定期開催の支援会議だけでなく、朝礼時に個別支援計画を確認することで、目標にそった内容でチーム支援を行う工夫ができています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・ワンドライブなどの日誌を活用し、しっかりと共有することができている ・毎日のMTにてプログラムの振り返り、気になる生徒さんの様子共有等を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	・4つの項目を網羅しつつ、特に自立支援、日常生活の充実や地域交流、社会参加の部分に力を入れて行っている	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3		・医療や保育関係などはあまり連携がとれていない ・医師との連携、保育関係との連携の部分は改善の余地がある。他の期間との連携面は整えられていると感じる
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・定期的に機関連携を実施する仕組みがある ・学級通信を活用し、下校時刻の確認を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4		・保育関係とは連携がとれていない ・支援内容的にも小学1年生の利用は極端に少ないため、機会があまりない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	5		・連携はしているが機会は少ない（中高生が多い事業内容であることも起因している）
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	・積極的に動けており、児童館との交流においては定期開催に至っている ・定期的に児童館との交流イベントや地域イベントに参加している	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		・十分な回数を実施できていない
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・生徒面談やモニタリングを通して意向の確認をしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・適時対応できている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	3		・実施回数は足りていないと思う。利用者側からもあまりニーズを感じられない。（実施しても参加者がいないことがほとんど）
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・自教室だけでなく、同事業所内でも共有できるような体制が作られている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・教室ブログやInstagram等で活動内容の発信をしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		・地域のイベントに参加することはあるが、事業所主催で地域の方を招待する機会は少ない ・活動sとして取り入れる努力はしているが、地域との関係性を築く部分が難しく回数などの面で不十分である
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・マニュアル関係は見やすく手に取りやすい場所に配置されている。	・想定した訓練の回数などには改善点がある
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		・災害対策など、所定のものは行えているが、訓練や常備しておくものなどについては改善点がある
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・調理プログラムではアレルギーの有無を確認し、本人や保護者様に活動内容の説明等を行っている	・ご家族の共有に留まるものも多いため改善点ではあるが、年齢的に成長している利用者が多く、症状が軽い方や自己管理できる方が多いこともある
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		

	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		